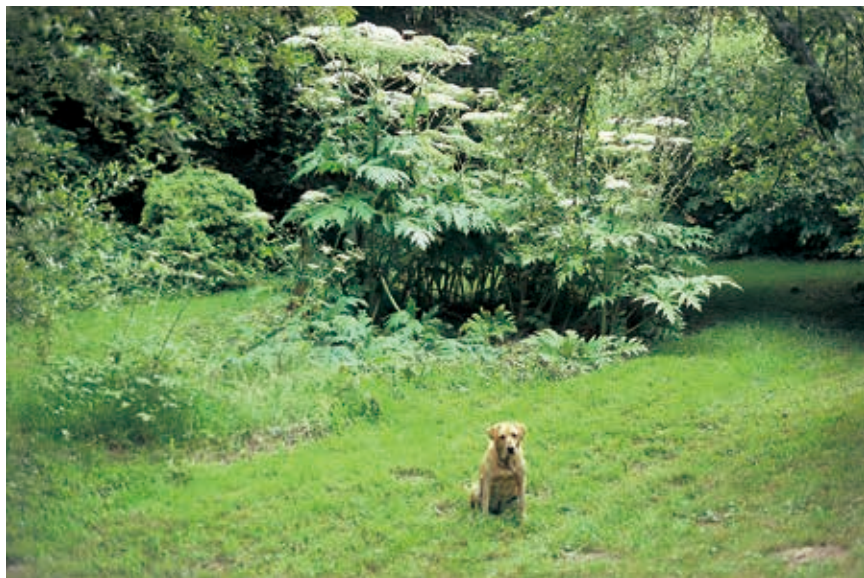


春にヘラクレウム・マンテガッジアナムが芽生えた場所を探しだす。サリクス・キネレアと球状に刈り込んだクマシデのあいだにあった  
芽生えを探し当てたら島を切り離す



一年半後  
ヘラクレウム・マンテガッジアナムは二年草だ。花を咲かせると枯死し、また別の場所に芽生えてくる

丈のある草花のなかのレウム・パルマトゥム  
草本の荒地地にいくつか外来種を導入していく



自然に生えてきた植物も生やしておく。  
菜園の一面に咲くリクニス・ディオイカ・ルブラ (*Lychnis dioica rubra*)



一年ごと、二年ごと、あるいは多年にわたって放浪するルピナス・アルボレウス。谷の庭にて



二年ごとに放浪するアレチマツヨイグサ (*Oenothera biennis*)  
谷の庭にて



一年ごとに放浪するクロタネソウ。1993年、クデールの庭にて



ユーフォルビア・コラロイデス (*Euphorbia coraloides*) とハナビスソウ (*Eschscholzia californica*)



銀の庭 (No.6)  
銀色の植物が作りだす川には、木造の河岸と沢渡りがある



金の庭 (No.7)  
葉が終わりつつあるノトファグス、さまざまな黄色の植物によるグラウンドカバー、そしてロサ ‘ゴールデン・ウィングス’

赤の庭 (No.5)  
誘引されたリンゴ、ブルヌス、クワ、ザイフリボクのある果樹の庭。アルモールの砂岩からなる滝の眺め



赤の庭 (No.5)  
ハゴロモグサ、ユーフォルビア。乾燥してくると、ユーフォルビア・ミルシニテス (*E. myrsinites*) は岩の色をまとう